

生き生きフォーラム

IN
大崎上島

瀬戸内の恵みを受け発展してきた
大崎上島の漁業の再生を考える

「漁場再生と地域活性化」…多様な環境再生技術を活用した
新たな「漁場近海域の生産性向上のための漁業再生事業の可能性追求」

平成29年

12月12日 火

13:00~16:00 (開場 12:30)

懇親会 16:10~17:30

参加費

入場無料 ※事前予約制(定員300名)

懇親会費 2000円

開催場所

大崎上島文化センター 多目的ホール「神峰」

広島県豊田郡大崎上島町中野2067-5

電話 0846-64-3055

懇親会：大崎上島文化センター開発総合センター内



主催



独立行政法人 国立高等専門学校機構
広島商船高等専門学校

共催

CIFER-広島サイト

後援

大崎上島町

申込み
方法

住所・氏名・勤務先・電話・E-mail
懇親会への参加の有無を明記の上、
メール・FAX・ハガキ、または電話
にてお申込みください。

フォーラム事務局 日本ミクニヤ株式会社 中国支店 担当：富田・橋本
【住所】〒734-0013 広島県広島市南区出島1-11-14
【メール】tomida@mikuniya.co.jp 【FAX】082-251-3988 【電話】082-251-3928
※島外から参加される方の交通ルート等についてはお申込み後にご案内させていただきます。

活き活き フォーラム IN 大崎上島

プログラム

12:30 ~ 13:00

映像で見る大崎上島

13:00 ~ 13:05

1. 挨拶

- ① 辻 啓介 広島商船高等専門学校校長
- ② 高田 幸典 大崎上島町町長

13:05 ~ 14:00

2. 基調講演

- ① 広島湾の現状と課題 宮林 豊 広島県農林水産局水産課長
- ② 海の再生と活性化 上嶋 英機 広島工業大学客員教授 (CIFER・コア理事長)

14:00 ~ 14:45

3. 海域環境改善事業の紹介と情報交換サロン

- ① 海洋環境事例の紹介 CIFER・コア
- ② パネル展示と情報交換 該当企業

14:45 ~ 16:00

4. パネルディスカッション

【コーディネーター】 上嶋英機

【パネリスト】

- ①横山 隆司 CIFER・コア理事
「海域環境改善の事例」
- ②田中 丈裕 NPO 法人 里海づくり研究会議業務執行理事
「里海づくりと漁場の再生」
- ③濱中 国雄 大崎上島水産振興協議会会長
「大崎上島周辺の漁場環境の課題と漁場生産向上のための展望」
- ④岩井 克巳 環境省・環境技術実証事業 実証機関 日本ミクニヤ株式会社
「海域環境修復技術の効果検証と適正技術のパッケージ化による試行実験」
- ⑤宮林 豊 広島県農林水産局水産課長

16:00 ~ 16:10

閉会式

16:10 ~ 17:30

懇親会



瀬戸内の島 大崎上島

海の育んだ文化と歴史

大崎上島は、瀬戸内気候で温暖な気候と美しい景観の島々、山の幸、海の幸に恵まれた一次産業と、海運の要衝に発展した造船業を主体とした二次産業の町です。古から、交易の要衝として栄えた地域で、寺社仏閣や歴史的建造物や祭事なども豊富です。

さらには歴史を有する広島商船高等専門学校と、現在建設中で平成31年開校予定のグローバルな人材育成を目指す中高一貫教育校、広島県立広島叡智学園などの教育の町でもあります。



大崎上島の抱える課題

大崎上島は、広島県でも最も進んでいる高齢化の波への対応が急務となっています。急傾斜地におけるミカン栽培は高齢化に伴い耕作放棄増加の原因となり、ミカン農家の衰退は島の緑の荒廃に結びつきます。また、漁業人口の減少による一次産業の危機が叫ばれています。

特に漁業を取り巻く状況は高齢化による後継者不足とともに、地球温暖化による商品価値の小さい魚種の増加、豊穡の海の象徴であったアマモ場、ガラモ場などの衰退など一段と厳しさを増しており、これら漁場環境の改善による漁業の再生が急務となっています。

さらにはしまなみ海道などの高速道路路線から離れ、いかにして観光など島の魅力をアピールし、観光客を呼び寄せ島を活性化させていくかが問われています。

大崎上島の未来……



中国電力株式会社



中国電力では、火力発電所から発生する石炭灰を造粒し砂の代替材となるHiビーズを平成12年から製造販売しています。Hiビーズは覆砂材等の環境改善材および地盤改良材として活用されています。

【URL】 <http://www.energia.co.jp/business/sekitanbai/>

JFE スチール株式会社



転炉系製鋼スラグから生まれたマリンストーンは、堆積ヘドロから溶出される硫化物イオンやりんイオンを化学的に吸着する「底質・水質改善材」です。潮流や波浪に対する安定性が優れており、底生生物や大型藻類の着生基盤としても利用できます。

【URL】 <http://www.jfe-steel.co.jp/>

日新製鋼株式会社



製鋼スラグから製造されるスラグ造粒物は、鉄等の溶出成分が藻類の成長を促進し、藻場再生や藻類養殖業の収穫量増加に寄与します。

【URL】 <http://www.nisshin-steel.co.jp/>

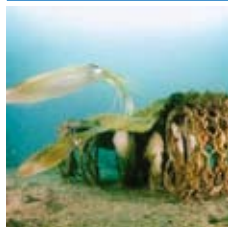
五洋建設株式会社



臨海部ナンバーワン企業として、環境・自然との共生に配慮したモノづくりと環境技術の開発に努めています。生物共生護岸は直立護岸表面を工夫することで、海藻や貝類のすみかを創り出します。

【URL】 <http://www.penta-ocean.co.jp/>

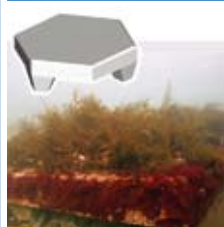
粕谷製網株式会社



「ととのゆりかご」は餌生物が蟄集することによりイカ類の産卵や沖合いより大型魚の回遊をうながし、沿岸漁業の漁場を形成する誘導魚礁です。

【URL】 <http://www.kasutani.com/>

共和コンクリート工業株式会社



藻場造成や魚介類の蟄集効果が大きい各種ブロックを開発し、海洋水産の発展に寄与しています。

【URL】 <http://www.kyowa-concrete.co.jp/>

株式会社横河住金ブリッジ



大阪府と共同開発(特許)したエコブロックは、魚類の蟄集効果が著しく、また、貧酸素時の避難場としても有効です。

【URL】 <http://www.ysbc.co.jp/>

海洋建設株式会社



貝殻を充填したメッシュパイプを組み合わせて作られた人工魚礁『JF シェルナース』は様々な小型動物の生育の場となり、水産資源の増大、生物多様性の向上、里海の創出に貢献します。

【URL】 <http://www.kaiyoh.co.jp/>

太平洋セメント株式会社



マンテンマルはアミノ酸を含む球状基材をセメントでコーティングした資材です。徐放するアミノ酸により、魚類等の蟄集と海藻類の生長を促進し、良好な海洋・漁業環境の形成に貢献します。

【URL】 <http://www.taiheiyo-cement.co.jp/>

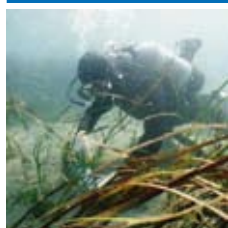
リマテック R&D 株式会社



太平洋セメント株式会社と共同開発したマンテンマルは、魚類の蟄集に効果があり、今後の漁場再生に寄与することが期待されています。

【URL】 <https://www.rematec.co.jp/company/rd/>

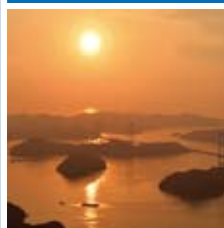
株式会社東京久栄



私たちは「海と自然、そして生命」を大切にしたい総合エンジニアリング企業です。海、沿岸域開発のパイオニアとして、地球環境に配慮した事業展開で社会貢献しています。

【URL】 <https://www.kyuei.co.jp/>

日本ミクニヤ株式会社



瀬戸内海エコツーリズム協議会を通じて瀬戸内の魅力を高め、この地域の活性化を目指しています。

【URL】 <http://www.mikuniya.jp/>